

# 平成 30 年度の事業報告書

平成 30 年 11 月 1 日から令和元年 10 月 31 日まで

特定非営利活動法人  
千葉大学環境 I S O 学生委員会

## 1. 事業の成果

本年度の事業の成果として、以下の 3 点を特筆すべき事項として挙げる。

### I. eco 教室事業において、ゲーム形式の教材を作成し、実際にワークショップの題材として活用したこと。

eco 教室事業は小中学生を対象とした環境に関する出張授業を行う事業である。平成 22 年度より継続して実施してきた本事業では、各企業から環境ラベルつきの商品を、三菱製紙販売株式会社からは FSC マークのついた鉛筆などを提供していただき、教材として活用してきた。本年度は、新たな展開として買い物をする時の商品の選択基準や付加価値を題材としたゲーム教材を作成し、eco 教室にて実際に活用した。これにより、「環境に配慮した商品選択」についてより実践的な学習を提供できた。

### II. 環境活動推進事業において、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（QST）が発行する環境報告書の第三者意見執筆を行ったこと。

QST は千葉大学西千葉キャンパス付近に立地する放射線医学総合研究所と日本原子力研究開発機構の一部が再編統合され、平成 28 年 4 月 1 日に新たに発足した国立研究開発法人である。この再編統合により、QST は環境配慮促進法の定める特定事業者となり、毎年度環境報告書を発行する義務が課せられた。当法人では環境活動推進事業の一環として環境報告書の第三者意見執筆を行っており、前年度に引き続き QST から依頼を受けた。本年度は同機構の関西光科学研究所および放射線医学総合研究所を視察した後、2019 年度環境報告書の第三者意見を執筆した。

### III. ベネッセ子供イベント事業において、幅広い年齢層の子供たちにモノづくりワークショップを通じて環境教育を行ったこと。

ベネッセ子供イベント事業は、株式会社ベネッセコーポレーションの主催するイベントに出展し子供向けのモノづくりワークショップを開催する事業である。5 月に行われた多摩センターこども祭り 2019 と 10 月のハロウィン in 多摩センター 2019 に出展し牛乳パックを用いた工作を行った。幼児から小学校高学年までと eco 教室事業よりも幅広い年齢層に対して環境教育活動を行うことができた。

## 2. 事業の実施に関する事項

①他組織に対し環境マネジメントシステムの構築と運用に関する助言を行う事業

②他組織の環境報告書等に関わる提言を行う事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	受益対象者の (D)範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：円)
環境活動推進事業	千葉大学の EMS を主体的に運用してきたノウハウを活かし、企業や他団体の環境報告書の作成をはじめとする環境活動のサポートをする。また、当法人会員が EMS 運用について深い理解を得、発信していくことで、社会へ貢献する機会を作る。本年度は 12 月 6～8 日に東京ビッグサイトで行われたエコプロを発端に通年で複数の環境イベントに出展した。11～12 月には株式会社ダイナックスから全国の EMS 規格に関連する依頼を受け、その委託事業に従事した。また、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構が発行する環境報告書 2019 の第三者意見を執筆した。	(A) 営業活動： 12 月 6 日、 12 月 7 日、 12 月 8 日、 その他通年 委託事業： 11 月 28 日から 12 月 14 日 第三者意見執筆： 8 月 26 日、 8 月 30 日、 (B) 千葉大学西千葉 キャンパス (C) 2 名	(D) 不特定 多数 (E) 不特定 多数	(収入) 84,160 (支出) 85,024

③地域の活動と協力する環境保全事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	受益対象者の (D)範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：円)

植樹・里山事業 (K, LINEの森)	川崎汽船株式会社との里山活動協定に基づき、生態系を保全し、環境の大切さをより多くの人に感じてもらうことを目的として同社の社有林にて植樹や里山の管理活動を行う。竹林整備や下草狩りなどの従来の活動に加え、本年度はネイチャーゲームを取り入れた実践的な里山教室を実施し親しみやすい環境教育を行った。	(A) 里山活動: 11月17日、 4月6日、 5月18日 (B) 千葉県山武郡芝山町 "K"LINEの森 猿待塚 (C) 1名	(D) 川崎汽船株式会社、 里山活動参加者 (E) 不特定多数	(収入) 0 (支出) 21,744
植樹・里山 (高尾100年の森)	SGホールディングス株式会社が保有する「高尾100年の森」において里山を管理する同社とNPO法人が主体となって、教育機関、地域住民の方やボランティアの方などと協同して里山管理をすることによって、参加者自らの手で森を再生する取り組みを進めている。本年度はそだの整備や植樹活動を行い、生態系の保全や緑化に努めた。	(A) 里山活動 12月22日 3月20日、 5月26日、 9月15日 10月27日 (B) 東京都八王子市「高尾199年の森」 (C) 2名	(D) 当該森林の周辺住民、イベント参加者 (E) 不特定多数	(収入) 0 (支出) 0

④環境に関する意識、知識の向上を促進する事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	受益対象者の (D) 範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位: 円)

ベネッセ子供イベント事業	株式会社ベネッセコーポレーション主催の子供向けイベントに出展し、幼児・小学生を対象とした環境に関するワークショップイベントを実施する。本年度は牛乳パックを用いたかごとブンブンゴマのワークショップを行うことで、子どもが環境について興味をもってもらえるように工夫した。また、ブースの中にポスターを展示して当法人の活動紹介も行った。	(A) 5月4日、 10月26日 (B) 株式会社ベネッセコーポレーション東京本部 (C) 26名	A) イベント参加者 B) 308名	(収入)0 (支出)0
eco教室事業	小学校中・高学年を対象とした環境に関する出張授業を実施する。本年度より新たな試みとして「お買い物シミュレーション」として自作したゲーム教材を活用し、児童に楽しく、かつ環境を身近なものとして捉えてもらえるように工夫した。授業の内容も環境ラベルを中心に、フードロスやフードマイレージ等にまで踏み込み、児童に幅広い知識を提供できるようなものとした。なお、本年度はセブンイレブン記念財団の環境助成金を利用している。	(A) 3月9日、 3月19日 7月6日 7月23日 7月24日 (B) セブンイレブン記念財団、葛飾区立上千葉小学校、船橋市立八木が谷小学校 (C) 20名	C) 本授業の受講者 D) 214人	(収入)0 (支出)437,589
ソーラーシェアリング推進事業	千葉エコ・エネルギー株式会社(つなぐファーム)と当法人が協同し、ソーラーシェアリングの推進を目的として立ち上がった事業である。ソーラーシェアリングの設置の下で育った作物を利用した加工品の製作・販売を始めとした活動を行う。また、各種イベントに出展し加工品の販売、ソーラーシェアリングの紹介を行う。	(A) 11月3日、 11月4日、 2月12日 (B) 千葉大学西千葉キャンパスなど (C) 11名	(D) イベント来場者 (E) 不特定多数	(収入)126,726 (支出)0

⑤その他、この法人の活動目的を達成するのに必要な事業  
本年度は実施せず。



法人名： 特定非営利活動法人 千葉大学環境ISO学生委員会

## 貸借対照表

2019年 10月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
預金	1,190,938		
未収入金	40,060		
流動資産合計		1,230,998	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
工具器具備品	91,296		
有形固定資産計	91,296		
(2)無形固定資産			
長期前払費用(直接法による減価償却済)	9,126		
無形固定資産計	9,126		
(3)投資その他の資産			
差入保証金	0		
事業用預金	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		100,422	
資産合計			1,331,420
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	0		
前受助成金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
役員借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		1,820,414	
当期正味財産増減額		△ 488,994	
正味財産合計			1,331,420
負債及び正味財産合計			1,331,420

法人名： 特定非営利活動法人 千葉大学環境ISO学生委員会

## 財産目録

2019年 10月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	0		
預金(使途が定められていない部分の預金)	733,849		
預金(環境ISO学生委員会活動援助事業用)	457,089		
未収入金	40,060		
流動資産合計		1,230,998	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産	91,296		
(2)無形固定資産			
長期前払費用(直接法による減価償却済)	9,126		
(3)投資その他の資産	0		
差引保証金	0		
固定資産合計		100,422	
資産合計			1,331,420
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
前受助成金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			1,331,420